

生きがい

編集発行

新居浜市高齢者生きがい創造学園

新居浜市上原二一八一

(☎四四一四八二六)

絵手紙は小さくて大きなギフト



高齢者生きがい創造学園
講座 絵手紙教室 講師 和田 静子

「おはようございます」と、皆さんの笑顔で教室が始まります。お一人、お一人のお顔がほころび、瞳が輝いています。何かを掴むんだと、意欲に満ち溢れた表情です。

画材を見つめ、震える線でトマトが描かれ、そのまわりに感謝の言葉が添えられている。その色付けも瑞瑞しく、一枚のハガキにドキドキと感動が詰まっている。かき上った嬉しさが伝わり、私も感動を分けていただく。

自分でかいた絵手紙を、親しい大切な人にプレゼントしてみてください。受け取った人はとてもハッピー！幸せな気持ちになります。自分の為に届いたハガキで、気持ちに明るくなります。

絵と言葉と字が小さなハガキの中で、命となり、ハートとハートを繋げてゆきます。

ワクワク、ドキドキの絵手紙を送って相手を喜ばせる。そんなお手伝いが出来ればと、思っています。今日も、教室は若々しい笑顔でいっぱい。未筆になりましたが、学園の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



日	曜日	午前	午後
4	金	広瀬GG(ゴルフ) 桃山C(卓球) ハッピー(ダンス)	桃山A(卓球)
7	月	コーラス教室 墨友(書道) 山茶花(俳句) いとこのこ(組み木) 桃山D(卓球) ハッピー(ダンス) 亀池A(陶芸) 亀池B(陶芸)	山野草栽培教室 書楽(書道) 百描会(美術) ウッド(組み木) 桃山B(卓球) 亀池A(陶芸) 亀池B(陶芸)
8	火	短歌みらい 絵手紙うさぎ エリーゼ(ピアノ) 別子GG(ゴルフ) ワルツ(ダンス)	絵手紙はなみずき 桃山A(卓球) 亀池B(陶芸) 山雄会(カラオケ)
9	水	書道教室 ソナタ(ピアノ) ブルースカイ(ハーモニカ) 広瀬GG(ゴルフ) 桃山C(卓球)	俳句教室 ピアノ10 コンテニュー(ハーモニカ) 桃山B(卓球) 桃山A(陶芸)
10	木	写真教室 四季の組み木教室 書峰(書道) 街道をゆく 別子GG(ゴルフ) 桃山D(卓球)	ひろせ(コーラス) 亀池B(陶芸) 山雄会(カラオケ)

歌にもいろいろ?...

「歌は世につれ、世は歌につれ」と申します。が、まさに歌にはその時代の世情が反映されています。

歌はそれぞれ悲喜こもごも、色々な想い出を残してくれます。童謡(唱歌)を聞くと幼き頃を思い出し、故郷を離れた人達は故郷を題材とした歌を聴くたび涙することでしょう。

このように歌を聞くたび唄う度に走馬灯の如く過去をよみがえらせ、心のアルバムとして残っています。皆さんにも次の曲には想い出があると思います。軍艦マーチです。運動会、パチンコ店等々によく使われる曲です。

私事ではありますが故郷を離れ大阪の某社に就職。寮(昭和初期建設の農業校の寄宿舎を転用)は古く独特のにおいがありました。昭和三十年代です。から娯楽として乏しく、寮生活で唯一の楽しみと言えばラジオです。

ラジオから流れるものは歌謡曲(流行歌)や野球の実況放送くらいでした。歌の種類も少なく同じ歌を何度も、なんども聞くものです。からいつの間にか覚えてしまい、五十年余り経った今でも、某曲を聴くと侘しい時代の寮のにおいが思い起こされます。

このように歌には想い出の場面や情景だけでなく、においも思い起こさせてくれる不思議な力があるのです。皆さんにはどんな香りを思い起こさせてくれる曲があるのでしょうか...



(多喜浜 徳本 勝彦)

趣味を探して

(講座 絵手紙教室)

退職してから、楽しく長続きできる趣味を探しています。昨年度は、ラージボールに参加させていただき、講座が終わった後も健康を目標にした仲間たちと一緒に週二回集まり、気持ちの良い汗をかいています。

今年度は絵手紙教室に参加することができました。字も絵も得意でない私ですが、講師の和田静子先生の「絵手紙は下手がいいんですよ」のお言葉を抛り所に講座の日を楽しみにして通っています。

絵手紙は「葉書と筆」と思っていたら、ハサミやのり、彫刻刀やカッターを使つての作品作り、講師の和田先生がいろいろなものに挑戦させてくださいます。「下手がいい」の言葉に自分で「不器用もいい」を付け加えて、グループの人たちや先生に励まされながら楽しく頑張っています。

絵手紙を書くことで身の回りの季節の変化に気づくことが多くなりましたし、物をよく見て自分が伝えたいことを書くことが大切なことも学びました。絵手紙の奥の深さと多様さを感じています。

嬉しいことに、筆不精の私が絵手紙なら気負わずに書けるようになりました。残り数回になりましたが、絵手紙が一生続けることのできる趣味になればと思います。

(角野 内藤 美保子)

18	17	16	15	11	日
金	木	水	火	金	曜
さつき(生花) ハッピー(ダンス) 広瀬GG(ゴルフ) 桃山C(卓球)	書龍(書道) サンシャイン(写真) フレッシュ2009 ウォークひろち ウォーカーズ別子 やまびこ 別子GG(ゴルフ) 桃山D(卓球)	ピアノ教室 書心(書道) そよかぜ(俳句) ブルースカイ(ハーモニカ) 広瀬GG(ゴルフ) 桃山C(卓球)	絵手紙教室 書硯(書道) ドルチェ(ピアノ) 別子GG(ゴルフ) ワルツ(ダンス)	趣味の料理教室 広瀬GG(ゴルフ) 桃山C(卓球) わいわいウォーキング	午前
なごみ(茶道) 山雄会(カラオケ) 桃山A(卓球)		陶芸教室 ショパン(ピアノ) ミニッツ(ハーモニカ) 桃山B(卓球)	桃山A(卓球)	山雄会(カラオケ) 桃山A(卓球)	午後

ビバ忘年会

(グラウンドゴルフサークル 広瀬GG)
 好天に恵まれ冬色に移りゆく山間の景色の中を、バスは徳島自動車道を行く。途中のサービステリアで一本の紅葉の緋色に眺えたつ姿を見つめる。こんな素晴らしさを愛でながら目的の地に到着。荷物を預けてグラウンドゴルフ場に入る。芝は枯れていてボールはよく転がる。ホールまでの間小さな山、うねり、上り下り、窪地と変化のあるコース。また休憩所の狭い間の五十坪先にホールがあるコースなどあり、止まりにするには息を止める思いで打ち、止まれば一安心。残念ながらホールに三回当たるもこぼれてホールインワンは取れなかった。童心にかえり楽しく二ゲーム終わる。まだ続けてゲームをしたいと思う程面白く、すばらしい設計のコースだった。

十二時より忘年会。番号札による席決め。乾杯して、花は咲く、ボケナイ小唄、ボケマ小唄を合唱。料理を楽しみながらビンゴゲーム。ビンゴの出来た人は歓声をあげながら、会員さん手造りの巾着袋を選ぶ。沢山あり目移りし迷いながら好みの袋を頂き宝物を抱くように席に戻り隣同志見せ合って喜ぶ。製作者に感謝。カラオケも美声が続き拍手また拍手。お酒の方も盛り上がり良い雰囲気の中、十五時、里の秋を合唱して終わる。

楽しく和気藹々と歳を忘れた良い一日となった。お世話下さった皆様にお礼申しあげます。



(中萩 紙田 正子)

母と歌う

(講座 コーラス教室)
 九月に「花は咲く」の楽譜を頂いて、あらっ、嬉しいっと思ったのです。

九十一才の母が、NHKの映像と共に親しんでいて、聴く度に、「いい歌だねえ、といっしょに口遊んでましたから。

今の母は午前中の事を午後にはもう思い出せない様な日常なのに「歌」は心に留まるみたいなのです。昔私達兄弟姉妹が子供だった頃には、母のオルガンに合わせてクリスマスや讃美歌や季節の唱歌など、よく歌ったものでした。

私達が巣立った後は、長年俳句だの陶芸など色々楽しんで来た母でした。が、七年前に父が逝った後、三年程たった頃からもう独り暮らしが気楽なものではなくなりました。遠く離れては居られなくて一緒に暮らすことに。体力も知力も目に見えて低下して来ましたが、以前の様に家の外でも何か楽しめる事と願って教室に加えて頂きました。

音域は狭いし声量もないし、コーラスなんか無理無理と尻込みするのを、歌えない所は歌える人が補ってくれるから大丈夫！そこがコーラスの良い所なの、と都合の良い講釈で説き伏せて鼓舞してる、なんだか無責任な会員です。みなさまごめんなさい。でもいつも、奥坂聰子先生のユーモア溢れる楽しいご指導に励まされて、元気で練習を続けたいと願っています。

(角野 川崎 和子)

日	曜日	午前	午後
21	月	コーラス教室 墨友(書道) あすなる(俳句) さくら(茶道) ハッピー(ダンス) 桃山D(卓球)	書楽(書道) 百描会(美術) 桃山B(卓球) 亀池A(陶芸)
22	火	みどり(茶道) エリーゼ(ピアノ) 別子GG(ゴルフ) ワルツ(ダンス) 書道教室 ソナタ(ピアノ) ブルースカイ(ハーモニカ) クロワッサン 広瀬GG(ゴルフ) 桃山C(卓球) 亀池A(陶芸)	やながわ(川柳) 桃山A(卓球) 亀池B(陶芸)
23	水	書道教室 ソナタ(ピアノ) ブルースカイ(ハーモニカ) クロワッサン 広瀬GG(ゴルフ) 桃山C(卓球) 亀池A(陶芸)	コンテニュー(ハーモニカ) ピアノ10 桃山B(卓球) 亀池A(陶芸)
24	木	書峰(書道) 歩こう会 別子GG(ゴルフ) 桃山D(卓球)	サンシャイン(写真) ひろせ(コーラス)
25	金	広瀬GG(ゴルフ) 桃山C(卓球)	なごみ(茶道) 山雄会(カラオケ) 桃山A(卓球)
28	月	コーラス教室 書楽(書道) ねこやなぎ(川柳) さくら(茶道) ウッド(組み木)	いとこのこ(組み木) 桃山B(卓球)

趣味の移行

(写真サークル サンシャイン)

私の趣味はゴルフ、他は何もない。しかし最近のゴルフは年齢とともに飛距離が出なくなり、スコアの数も増えてくる。また若い人たちとコースを回れば、スイングの崩壊によりキャディさんと徘徊(ボールを探す行為)が目立ちはじめ、ゴルフの面白さがだんだんと薄れてきた。

その頃、カメラのCMがテレビや雑誌などでよく見かけた。自分専用のカメラは持ってないが、大口径レンズを装着した一眼レフには以前から興味があり「ゴルフを止めて写真でも」と思うようになった。

このような経緯の中で標題の「趣味の移行」を決意。三年前に写真教室、卒園と同時にサンシャインに入会させて頂く。講師の田尾忠士先生、さらには会員の方々のご指導を頂きながら、日々写真展などの作品づくりに邁進し、併せて仲間の皆さんと新しい撮影地に向いたり、新しい被写体に向き合ったりしながら写術を学んでいる。

ところで最近のデジカメは機能性に優れきれいに撮れる。でも写術を習得していく過程で、初心者の私にはそう簡単に撮れない。写真の基本は「構図」、この構図については個々の感性が重要視される。しかし私はこの感性が欠如し、四苦八苦しているのが現状である。



(中萩 上野 勲)

ピアノに出会えて 本当によかった

(ピアノサークル ドルチェ)

数年前、夫から「ピアノを処分しようか」と相談されて「その内、私が弾くから」と返事をしたことが思い出されます。

二人の子供達が、慣れ親しんだピアノ、そして幼い頃から大好きだった「エリーゼのために」や「乙女の祈り」をいつの日か弾いてみたいとの思いがあったからです。そして「六十の手習い」と称しピアノを受講して二年目になります。

最初は、片手で弾くことも儘ならず、譜面も読めない私が、果たして弾けるのだろうかと不安で一杯でした。拙いながら続けて来られたのは、第一に高橋恵里先生のおかげだと思っています。辛抱強く、私達に寄り添いアドバイスをして下さいます。そしてもう一つは、教室の皆さんです。お互い切磋琢磨し、ここまで来られたのだと思います。なんとも心地良く、仲良くさせて頂いています。

昨年、眼の手術をした時も、ちようど発表会の前後ということもあり、練習に集中していたおかげで乗り切ることができました。

ピアノは、一生涯の友として、私に光を与えてくれたような気がします。将来は、孫と一緒にピアノを弾くことを夢んでいます。「ピアノに出会えて、本当によかった!!」



(泉川 梶原 晴美)

日	28	29	30	31
月	火	水	木	
午前	桃山D (卓球) ハツピー (ダンス) 書硯 (書道)	書心 (書道) ブルースカイ (ハーモニカ) 広瀬GG (ゴルフ) 桃山C (卓球) 亀池A (陶芸)	別子GG (ゴルフ) 書龍 (書道)	桃山D (卓球)
午後	みどり (茶道) 桃山A (卓球) 亀池B (陶芸)	桃山B (卓球) 亀池A (陶芸)		

◇ご恵贈お礼◇

◎ロビー生け花 十二月度 鴻上 美智甫 様 (講師)
◎川柳にはま 十二月号 にはま川柳会 様

◇今月のロビー展◇

(二月四日～一月三十一日)

俳句教室 (講座)
陶芸教室 (講座)
写真教室 (講座)
ねこやなぎ (川柳)
やながわ (川柳)

*二月の予定

弥生 (生花) さつき (生花)
短歌みらい (短歌) いずみ (短歌)



生きがい創造

(書道サークル 書峰)

書峰としてのサークル活動は四年目で、二十八名が小野博先生のご指導を受けています。未だに楷書の手本をひたすら模する習字の入り口で足踏みしている私のような者、とみに上達し書が楽しくますます腕をあげている人、条幅までこなす上級者と様々です。多趣味でサークルを掛持ちしている人、地域の活動やボランティア、家事や育児の補助、介護などで忙しい合間に集中して硯にむかう人のほうが上達しているようです。

私事ですが、高齢者といわれる歳まで職場中心の狭い人間関係で過ごした者にとって、学園での「男の料理教室」から通算六年間、皆さんとの出会いと交流は新鮮でした。悔い多い人生の終期、「余生」は余分の人生と後ろ向きの時期もありますが、余り長くはないこの先、できる限り多くの人と関わりながら無責任にゆとりをもってランディングできればいいと考えています。

「生きがい」は高次元のものではなくても明日も「人に何かしてあげられる(しなればならない)」とか「無心に充実した時間を持てること」だと思います。

(泉川 神野 功男)



鎌倉の大仏

(料理サークル クロワッサン)

関東に住む息子達を誘い、鎌倉の大仏を見に出掛ける。津波で大仏殿の柱の礎石が動いたとニュースで聞いたのが動機だ。鎌倉で唯一の国宝である大仏が鎮座する高德院へとゾロゾロ歩く。大仏殿は、十五世紀の大地震による津波で倒壊、以後露坐の大仏として今に至る。実際、柱が建っていた巨大な礎石は、波の威力で押し流されたものもある。津波の凄まじさは相当なものだったろうと、想像すると、地震に敏感になっていく昨今ゆえ、恐怖に身が竦む。胎内拝観をすると内部は空洞になっている。鑄物の継ぎ目がよく判る。歌人と謝野晶子に「美男」と言わしめた大仏様は、本当に凛々しいお顔で感動。海も眺めて見ようと由比ヶ浜へと歩く。夢中で石飛ばしをして遊ぶ孫達を、ここぞとばかりにカメラに収める。



サーフィンを楽しむ大勢の若者、犬を連れて散歩する地元の人、何と平和な光景だろうと又感動。さて鎌倉でお昼と言えば生シラスが有名。だが前夜の不漁の為、仕方なく釜揚げとなるがそれでも納得の味で満足。帰路、オーガニックにこだわった有名なパン屋さんを覗く。そう言えば夏の暑い日、張り切って焼いたパンが過発酵して失敗した事を何故か思い出す。楽しい泉玲子先生と個性豊かな皆様、これからもよろしく願います。

(泉川 近田 千恵子)

ありがとう「ジョイ」

(俳句サークル そよかぜ)

むし暑かった昨年六月十五日、忘れようにも忘れられない日である。前日まで元気であった愛犬(ジョイ)が、食餌、水をも摂らなくなり、余儀なく半日入院となった。愛犬とのガラス越し対面、その光景、姿：神々しいまでに研ぎ澄まされた瞳の美しさに、唯、息を凝らし立ち尽くすばかりであった。30分後、夫に促され、後ろ髪ひかれつつ「夕方には迎えに来るから」と、獣医院を出たが、まさかそれが最後の別れになるうとは。

子供のプレゼントで、我が家に来た犬は生後一か月のマルチーズ、体重1.3kg、雄。快活、陽気な性格、人懐っこい純白の犬に、我が家の生活は一変。犬の食餌から排泄、運動、入浴、健康管理。留守もできず、犬の生活に人のリズムを合わせる生活のなかで、14年3ヶ月、共に過ごし「家族の一員」であり、「もの言わぬ友」であった。

犬であるが、人間の感情をきわめてデリケートに理解し、人の心にやさしい愛をはぐくみ、活力を与え、信頼の絆を作り、生命の尊さを教えてくれた愛犬ジョイに感謝。ありがとう。

- ・愛犬の 夜間診療 冬の雨
- ・犬逝きて はや一年や 茨咲く

昨今、ニユース等で、子供や動物の虐待を見聞きし、本当に悲しく思います。



(中萩 工藤 孝子)

第2回四国短歌セミナー入選歌

○日時 12月9日(日)

○場所 松山市道後「にぎたつ会館」

マスコミに世論はまたも操られ野におぼおぼ
ときつね花咲く (講師)吉田みのる
廃校のプールの水面に尾を打ちて卵生みつぐ
おはぐる蜻蛉 高橋 征子
飯の町に住む人々のフクシマに千本桜はひつ
そりと咲く 嶋田 光弘
恐竜が果てぬ食欲満たすことのたうつ稲束食
むコンバイン 石井 典一
賑わいもパン焼く香りも今はなく閉店のピラ
雨に濡れおり 佐藤 順子
病癒えて妻の戻りし台所浅蜷の味噌汁煮立ち
て香る 徳永 康夫

あけまして

おめでとうございます。

旧年中は大変お世話になりました
本年もよろしくお願い申しあげます
平成癸巳歳 元旦
創造学園職員 一同
広報委員 一同

学園歌壇

サークル「短歌みらい」

デッキ みさき かざぐるま
甲板より佐田岬に並ぶ風力発電「期待の星」の
夢かとも見ゆ 加藤 千春
会う度に細る命のいとおしき母に届けむ魔法の
ランプ 坂田 純子
剣山 頂に立ちて見下ろせば我招くよに虹のか
けはし 馬木由利子

サークル「いずみ」

公園の緑の樹々の一面を楓紅葉明るく染める
横川 若水
上高地河童橋への木漏れ日に落葉松の雨ヒラヒ
ラと降る 金子由美子
自生した柿、棕櫚の木 家守り六キロの柿今年
干すなり 桑原八重子

学園柳壇

サークル「やながわ」

老いの身に落ち葉ひらひら余命知る 越智 輝道
ウオーキングいつもの道が新鮮だ 村上 省二
右往左往風雨に追われ雨宿り 山本 博満

サークル「ねこやなぎ」

勤勉さみんな持つてる金メダル 加藤 忠吉
無理をして来世も一緒などと言う 近藤 茂
頼られて知らず知らずにしてる無理 白川 英男
初日の出無垢な心にしてくれる 井原みつ子

学園俳壇

サークル「そよかぜ」

時雨るるや瀬戸の小島の舟隠し 高橋いたる
暮れ急ぐ陽を背にして落葉掃く 吉田 清美
ハイキング鳥兜よと写真撮る 太田 稔

サークル「あすなろ」

躍動す虎の屏絵紅葉寺 泉 百合子
秋風や往診医師の黒かばん 那須口静子
長き夜や夢二のしほり本に閉づ 真田 靖枝

サークル「山茶花」

穢れなき祭の巫女の御下げ髪 白鳥 佳正
枝豆を千切る妻の背の円きまる 長尾 健治
月澄あり妻の卒寿の十六夜に 迫田 三雄
威銃ひびく書斎の硝子窓
樹齡三百年色変へぬ臥龍松
誓子句碑の拓本をとる菊日和

講師 阪上 史琅

二十四年度の研修旅行から

(代表者会 副会長)

平成二十四年度代表者会主要行事の一つである代表者・講師合同研修旅行は十月二十六日に実施されました。

行先は今年度NHK大河ドラマでの主要地となった秋の宮島。参加者数は残念ながら今一つでしたが快晴の天候にも恵まれ、楽しい旅行となりました。

旅行の目的の一つでもあった平家一門が奉納した「平家納経」の参観は残念ながら本物を見ることはありませんでしたが旅行が終わった一カ月後に東京国立博物館島谷副館長の解説文が毎日新聞に掲載されましたので紹介して、旅行の報告に代えさせていただきます。思います。



(金子 飯塚 紀夫)

美の書

島谷 弘幸

中心とする武門の好みが融和して出来上がった。

清盛が平家の繁栄を願って発願し、一門が結縁に加わって、厳島神社に奉納した。結縁というのは、仏道修行の道に入り成仏の功徳を願って仏に縁を結ぶことで、そのために経文を書写して供養したのである。熱心な仏教への信仰

の表れであり、来世への強い不安を払拭しようとするものでもあった。

経巻に装飾を加えることで、仏のさらなる加護を念願するようになった。次第に、これは宮廷貴族の間で流行し、華麗さを競うようになっていった。こうした装飾経の中にはあって、もっとも著名で華麗なものが「平家納経」の「願文」は清盛自身の清書である。願

清盛自身が願文清書 成就を切望

「平家納経」は、写経というイメージを一新する。篤い信仰と王朝貴族の洗練された美意識、さらには発願者である平清盛(1118-81)を

文の65行を丹念に墨書し、巻末には「長寛二年九月 日皇子従二位行権中納言兼皇太后宮権大夫平朝臣清盛敬白」と署名を加えている。短い行にたくさんの文字を入れるため、役職や「朝臣」などは文字を重ね合わせるように工夫が見られる。拡大写真。

この願文の文字は、豊潤で力強い筆致で揮毫された巧みな書である。自らが筆を執ることによって、一族の現世での繁栄と来世での極楽浄土への往生という大願の成就を切望したのであった。

「平家納経」の願文の文字は、豊潤で力強い筆致で揮毫された巧みな書である。自らが筆を執ることによって、一族の現世での繁栄と来世での極楽浄土への往生という大願の成就を切望したのであった。

国宝 平家納経 平清盛願文

唐室退観一心之本源極摩
日之照霜露然則百年之終
寸合具足越中自遊四方雖
下品不嫌獨同法於未救運
華之表證中道未晚先利
物折舊栢素梓之御能至善
提引導法者今日之願自
趣如斯乃至福業所單也
不限故

長寛二年九月 日皇子従二位行権中納言兼皇太后宮権大夫平朝臣清盛敬白

1巻 彩箋墨書 平安時代
長寛2 (1164)年
27.9cm×264.5cm (部分)
広島・厳島神社蔵

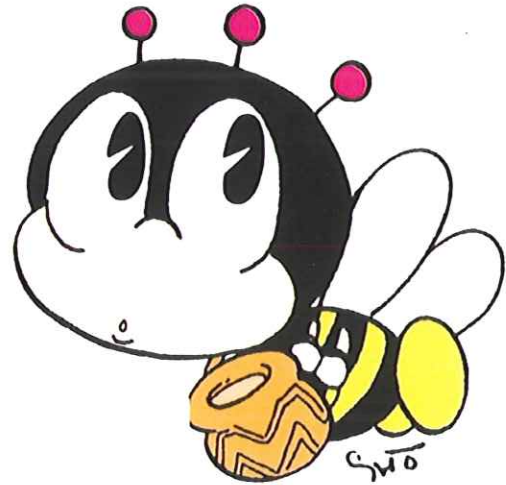


(東京国立博物館副館長)



新居浜市役所正面玄関の横にあるモニュメント

生涯学習のマスコット マナビィ



新居浜市生涯学習都市宣言

わたくしたちは

夢がひろがり

愛があふれるまち

「こいはま」を目指して

自分を見つめ 自分をふかめ

ともに生き ともに育ち ともに輝き

世界とむすび 出会いと心の絆を大切に

ふるさとを知り ふるさに学び

ふるさとに感謝して

より豊かに生きていくために

生涯にわたり楽しく学びます

ここに 市制60周年にあたり

「生涯学習都市 にはま」を宣言します